

# 北海道室蘭清水丘高等学校々歌

《眸をあげよ 空遠く》

斉唱・同声二部又は混声四部合唱

詩 風 卷 景次郎  
曲 長谷川 良 夫

♩ = 約 104



1.ひとみをあげよ そらとおく いら  
2.ひとみをあげよ そらとおく しみ  
3.ひとみをあげよ そらとおく みさ



えのはての やまあをしわか しあわががく  
ずがをかの まどのほしさえよさえよ あわががく  
きをめぐ る うみひろしむつべむつべ あわががく



えんのぞみはるかに われらたてば はつらつ まことすが  
えんひびにつとめて われとまなぶ せいしんちえにひか  
えんわか くだしく われらみがく じゅんしん つねにきよ



一たただしはつらつ まことすが 一たただしみよや  
一りみりせいしんちえにひか 一りみりみよや  
一きまさごじゅんしん つねにきよ 一きまさごみよや



のひと やみよやこの つどい を  
のおか

一、眸をあげよ空遠く…

入江のはての山背し。  
若し若し

ああわが学園

望はるかにわれら立てば  
澁刺まこと姿ただし。

見よや見よやこの人。

二、眸をあげよ空遠く…

清水が丘の窓の星。

冴えよ冴えよ

ああわが学園

日日につとめてわれと学ぶ

生新智慧に光みり。

見よや見よやこの丘。

三、眸をあげよ空遠く…

岬をめぐる海ひろし。

むつべむつべ

ああわが学園

若くただしくわれら磨く

純真常にきよき真砂。

見よや見よやこの集を。

(備考一九五三、六月七日作曲)